

平成24年度第1回北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会会議録

- (1) 会議名：平成24年度第1回北杜市子ども読書活動推進計画策定委員会
- (2) 開催日時：平成24年8月28日（火）午後1時30分～午後4時
- (3) 開催場所：北杜市金田一春彦記念図書館 SVホール
- (4) 出席者： 策定委員 安藤 義行／田中 壽弘／柴山 裕子／倉田 弘江
松井 美香／斎藤 満／田畑 雅宏／田辺 静香／望月 美良
山口 昇／浅川 希久子
事務局 教育長・小林 弘（図書館長） 篠原 美恵・小野 まどか（総務担当）
- (5) 議題：(1)「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」の策定経緯について
(2) スケジュールについて
(3)「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」について
(4) その他
- (6) 協議内容
 - *北杜市子ども読書推進計画策定委員会設置要綱により、会長、副会長の選出を行い、会長：安藤義行氏、副会長：柴山裕子氏に決定した。
 - 1)「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」の策定経緯について
 - *事務局より資料についての説明
 - 2) スケジュールについて
 - *事務局より資料についての説明
 - ※別紙参照
 - 3)「北杜市子ども読書活動推進計画（第二次）」について
 - *事務局より資料についての説明
 - ※別紙参照
 - 委員：H23年度学校図書館利用状況について、学校別の生徒数を記載してほしい。
 - 事務局：次回、修正して提出する。
 - 委員：長坂中学校が国から読書活動の表彰を受けたと思うが、内容を知りたい。
 - 事務局：受賞内容を調べて、次回報告。
 - 委員：北杜市図書館の利用状況をみると、前年度より減少しているが、原因は何か？
 - 事務局：新刊が少なく、利用者にとっての目新しさが無い。この課題については、

各館で一定の新刊を回すなどの努力もしている。また、読書ツールの増加も原因の1つ。

委員：図書館が役に立つところだということ子どもに知ってもらうべき。

委員：利用人数が減少しているが、図書館の役割ということから考えると、利用人数だけでは評価できない。

委員：旧須玉町の読書プランに関わっていた人が、策定委員会に入っていた方がよいのではないか。

事務局：事務局の篠原が当時関わっていた。

委員：平成20年度に、図書館協議会にて子ども読書プランの話し合いがなされていたようだが、反映されているのか。

事務局：反映されている。

委員：各自自治体の先進的な事例があるならばほしい。江戸川区で読書課を設置したと聞いたので、こちらの情報もほしい。

事務局：事例はいくつかあるので、情報を収集し、次回報告する。江戸川区の読書課についても調査して報告する。

委員：国立国会図書館の研修も活用するとよい。

委員：北杜市らしい子ども読書プランを策定してほしい。

委員：ヤングアダルト（YA）に読書推進がなされていない。高校はどのような状況か。どんな取り組みをしているのか。

委員：小中学校で読書に親しんでいるので、高校では特に取り組みをしていない。行っていることは、新刊の案内、図書だよりの発行、夏休みの読書感想文の提出。

委員：旧須玉町の時の成果をもう少し盛り込んでもいいのでは。文科省の法律も資料として添付した方がよい。

事務局：旧須玉町の図書館にしか適応しない項目もあったので、そこは盛り込まなかった。

委員：「ブックスタートの認知度があまり高くない」とあるが、どういったことから判断しているのか。子育て支援センター等で会う方はかなり知っている。

事務局：実際にブックスタートを受けた方は知っているが、ブックスタートを初めて受ける方は知らない方が多かった。

委員：ブックスタートプレゼント本はリサイクルしているのか。

事務局：本はあげている。

委員：ブックスタートプレゼント本は、その子用にほしいと思うので本をプレゼントする意味はあるが、セカンドブック、サードブックは配布方法を考える必要がある。

委員：数値目標を記載するのか。

- 事務局：今後、盛り込むか検討する。
- 委員：ボランティアという認識がどれくらいあるのか、行政がお金を支払うものがボランティアといえるのかどうか、考えなくてはいけない。
- 事務局：現在、北杜市図書館ボランティアは189名である。図書館の運営に非常に貢献していただいているということから、行政としては、最低限の経費（保険料等）の支給を行っている。
- 委員：公共図書館と学校図書館のネットワーク化は計画に盛り込むのか。
- 事務局：盛り込む。
- 委員：公共図書館と学校図書館が一元化されるとよい。それによって、学校図書館同士の資料整備に役立つ。
- 事務局：資料整備という項目を盛り込む。
- 委員：旧須玉町で子ども読書活動計画を策定後、どんな成果があったか（利用状況の増加、学習能力の向上等）データがあればほしい。
- 委員：このような成果は、計画後すぐに出るものではなく、読書環境や司書の資質等も含めて成果を出さなくてはならないので、データとして出すのは難しい。
- 委員：読書をすれば読解力が上がるとは一概に言えないが、読書環境を整えることは大切である。
- 委員：計画の策定にあたっては、子どもが置き去りにならない、魅力的な計画を策定してほしい。
- 委員：北杜市内の学校でも差があるのが事実。特徴があるのはいいが、こういった差を考えていかななくてはならない。
- 委員：学校での調べ学習で、本ではなく、インターネットを使って調査することが多く、こういった環境も考えていかななくてはならない。
- 事務局：読書状況について、児童生徒等にアンケートを実施する。後日、ひな形を送るので、アンケートに取り上げてほしい項目があれば、事務局に報告してほしい。
- 委員：子どもにとっての図書館の満足度を聞いてほしい。
ボランティアの読み聞かせの満足度を聞いてほしい。
学校図書館・公共図書館が好きな場所か、また何回行くか、行かないとしたらどんな理由で行かないのか聞いてほしい。
図書館のイメージを聞いてほしい（必要な情報収集の場、楽しいものを見つける場所等）。
好きな本の種類を聞いてほしい。
- 委員：YAは抜け落ちてしまう部分なので、YAの読書推進を図っていく。
- 委員：高校は専門的な勉強をしているので、教科ごとにある程度資料が揃って

おり、図書館を利用しなくても、資料が間に合っているのかもしれない。
学習スペースがあれば、もっと図書館を利用してくれるかもしれない。

委員：中学校は、図書館の閉館時間まで部活動があるため、物理的に利用することが難しい。少しでも利用できるような方策を考えていく。

委員：県ネット・ヤマネットの体制・連携のポイント・利用統計を知りたい。
国立国会図書館・県外図書館の利用率を知りたい。

事務局：次回報告する。

委員：図書館の利用案内はどのような風に行っているのか。

事務局：やまね便り、広報等にて利用案内をしている。

委員：長野県富士見町立図書館は、図書館利用初心者でも入りやすい環境である。
図書館は敷居が高いイメージだが、富士見町はとても敷居が低く、初めての人でも利用しやすい。

委員：図書館が利用しやすいと、住民は住みやすく、外から移り住んでくるようになる。

委員：子どもが何を望んでいるかを把握していく必要がある。ある程度の数値目標を記載する必要がある。

審議会等で指名する2人以上の署名

委員 _____

委員 _____